

人にやさしく自然にやさしい安心・安全の農業を目指して

米工房通信

おかわり 21

2013年

2月号

〒953-0103 新潟県新潟市西蒲区橋本 848 URL <http://www.fujitafarm1866.com/kome>  
TEL0256-82-3796 FAX 0120-82-2793 E-mail [sales@fujitafarm1866.com](mailto:sales@fujitafarm1866.com)

お米のご注文・お問い合わせは専用ダイヤル 0256-82-3515 FAX0256-82-2793(フジタファーム内)

#### 今月の米工房

ビニールハウスで1月5日に台木用トマト（病気に強い品種。下の方の茎と根っこを使う。）の種を播き、その10日後に穂木用トマト（実を付ける上の方を使い、台木に接ぐ。）の種を播きました。今では二葉の次に出る2枚葉が左右に開き、すくすくと伸びています。

1月下旬に台木用の苗をビニールポットに植えかえし、2月10日頃に穂木を接ぎ木、3月中旬の第1番花が咲き始める頃にビニールハウス内に定植し、6月の収穫に向けてビニールハウス内で栽培・管理していきます。

1月の苗作りのこの時期は、温度管理が非常に微妙です。暖房はつけていても、日差しや雪・風などの状況でビニールハウス内の温度は変化し、夜の冷え込みで温度が低くなりすぎれば芽の生長が止まり枯れてしまいます。発芽したばかりの芽がガッチリした苗になるか、ヒョロヒョロの苗になるかの分かれ目の大切なこの時期は、なかなか遠くへ出かけることができない時期なのです。（阿部）

一方、今年の米づくりのための育苗ハウスの準備も進めています。こちらは秋までトマトのコンテナ栽培を行っていました。中を片付け、防草シートをはがして干し、砂を入れて地面を平らに均し、再びビニールシートと防草シートを敷きます。3棟のハウスを順に整備していきます。



#### メンバーより一言挨拶

「昨年の反省を活かして、今年一年が終わった時に笑顔でいられるように頑張ります。」 川崎

「昨年よりも収量を上げ、美味しい安心なお米を作っていきたいです。今年もよろしくお願いします。」 星野

「昨年は技米の出来が良かったので、その品質を落とさないように努力します。  
今年もよろしくお願いします。」 米山

「実家の家業を継ぐことになり、本年度をもちまして退職することになりました。最後の年ということで、集大成と呼べるような良い結果を出せるよう、努力していきたいと思います。」 富樫